

マーケットの動き（2025年12月1日～12月5日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週初は、日銀総裁の発言を受けて12月会合での利上げ観測が強まり債券は売られました。10年、30年入札は堅調で一時的に金利が低下する場面もありましたが、積極財政によるインフレ圧力の高まりから、利上げの最終到達点であるターミナルレートが切り上がる可能性が意識され、中長期債を中心に売り圧力が続きました。クレジット市場は、年内最後の起債が集中する中、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年12月）

国内長期金利に対する上昇圧力は続く

日銀が12月ないし来年1月の金融政策決定会合で利上げを行うとの見方が広がる中、政府による高圧経済志向を背景とした2025年度補正予算ならびに2026年度当初予算の拡大が予想されることもあり、国内長期金利に対する上昇圧力は続くとみています。

	12月5日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） (変動幅)	1.93	0.11	0.27	0.47	0.88
NOMURA-BPI総合 (騰落率)	337.93	▲0.69%	▲1.74%	▲2.84%	▲5.51%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

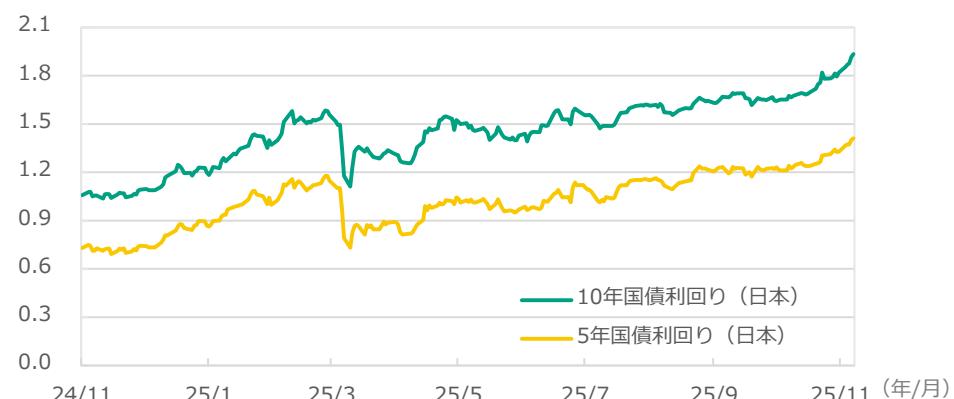
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202512_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

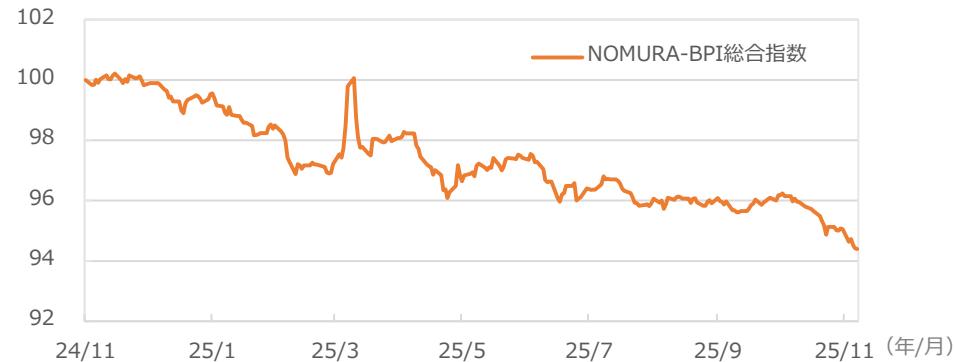
日本国債利回りの推移

(期間：2024年11月29日～2025年12月5日)



NOMURA-BPI総合指数の推移

(期間：2024年11月29日～2025年12月5日)



※2024年11月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成